



ワンタッチ簡単操作 コスバも抜群!

H₂FRESCA

HYDROGEN PRODUCTION



美容と健康を願う方々が今、
続けているのは、水素摂取。

水素摂取が医学会において脚光を浴び、最新医療として認可されて以来、日々、健康と美容を意識する方々が水素ライフを実践しています。

そして、より求められているのが、安全安心で高濃度の水素気体です。

高濃度水素ガス生成機H2G150は、クラス最高の水素発生量と安全機能を誇る最新鋭機。

お部屋での直接吸引はもちろん、お出かけ、職場に携帯したい水素水生成も簡単高濃度な水素ライフを実現します。

私に、
濃い水素は欠かせない。

洗顔にもたっぷり使えるって、嬉しいな...

高濃度
水素ガス生成機



H2 FRESCA
HYDROGEN PRODUCTION
120×120×190mm
日本製

クラス最高発生量 2.5L/分(15分間)

クラス最高
99.9%
150ml/min
(±10%)



安全
水素発生方式
安心
停止機能

持ち運び
自在
コンパクト
サイズ



キャリーバック付



水素水生成

直接吸入



毎日1時間
水素ガス吸入



たっぷりの水素水で
洗顔・手湯



外出時は手軽に
水素水携帯



水素ガス発生器選びのポイントは？

- ✓ **安全性** 水素発生方式は安全安心か？
- ✓ **性能** 水素発生量はどれほどあるか？
- ✓ **耐久性** 使用時間・耐久性は？
- ✓ **実用性** 使い勝手や便利機能は？
- ✓ **信頼性** 故障・修理時の保証やサービスは？
- ✓ **経済性** 購入価格・月々の使用コストは？

すべてがクラス **最高レベル** の **最新水素生成機** をご紹介します

安全性

- 水素分離生成
PEM電解コア方式
- 各種安全センサー搭載



性能

- 水素濃度 **99.9%**
- 水素生成量
毎分 **150ml(±10%)**
- 静音設計



静音設計

耐久性

- コア部稼働耐久
4000時間
- 1~3時間毎の
連続運転可能



実用性

- 吸入&水素水生成
- 簡単ワンボタン操作
- 1,2,3時間タイマー
- 軽量コンパクト



信頼性

- 日本製 ●1年保証
- 修理期間中代替品提供
- メンテナンスサービス
(3年/5年 オプション)

経済性

- クラス最安
237,600円 (税込)
- 月々使用コスト
(毎日1時間)
300円 未満





【高性能】

水素ガス生成量クラス最大級!
このサイズの製品で99.9%濃度
で毎分150ml(±10%)の水素生
成量は他に類を見ません。
枕元でも気にならない静音設計

【高信頼性】

安全安心の日本製。
アフターフォローも万全。
メーカー保証1年&メンデサー
ビス延期保証(オプション)あり。

【高耐久性】

水素ガス生成の心臓部PEMモ
ジュールはロングラン4000時間
可動。
1日1時間使っても10年以上使
える長寿命。

【簡単操作】

操作は簡単ワンボタン
精製水を入れてコードを繋いだら、
あとは前面のボタンを押すだけ。
1回押せば1時間、2回で2時間、
3回で3時間までのタイマー設定。
停止後すぐに連続運転も可能

【高安全性】

各種センサー搭載の安全設計。
転倒、水位、加熱、水質を感知し
て自動停止

【高経済性】

ランニングコストは月2本の精製
水(500ml)200円程度+電気代
月約60円(1日1時間稼動)の安心
コストパフォーマンス



H₂FRESCA
HYDROGEN PRODUCTION

- 製品概要 -

品番	H2F150
定格	DC12V/8A
外形寸法	W120×D120×H190(mm)
製品重量	1.6kg
機能	PEM方式水素ガス発生システム
水素生成量	150ml/分 (±10%)
水素純度	99.9%
使用できる水	精製水(日本薬局方表示物)
製造国	日本(修理メンテナンスも日本国内)
価格	237,600円 税込



【付属品】電源コード1本、AC/DCアダプタ1個、吸入用付属品(カニューラ2個、ウォーターコレクタ1個、精製水2本)、水素水生成バブルスティック、イオン交換スティック2個、専用キャリーバッグ1個、取扱説明書(保証書付き)1冊

※保証期間は1年間(修理中期間は代替品をご提供)

※別途メンテナンスサービス(メンテナンス・故障修理無償)延長オプション【3年(22,000円)5年(55,000円)】あり

※吸入用付属品(カニューラや精製水)は消耗品

※本製品は医療機器ではありません。

水素ライフでこんなことに悩んでいませんか？

- ✓ 機種の違いがよくわからない...
- ✓ 操作が面倒そう...
- ✓ フィルターなどの掃除や手入れが必要では？...
- ✓ 毎日どれくらい水素を吸えばよいかかわからない...
- ✓ 吸入だけでなく水素水も利用したいがコスパが心配...
- ✓ 故障したらどうしたら良いのかわからない...
- ✓ 水素水を洗顔やハンドケアにも使いたい...
- ✓ ペットにも水素水を飲ませて大丈夫？
- ✓ 何年くらい使用できるのだろう...
- ✓ 旅行のときや仕事場にも持っていきたい...
- ✓ 毎日使うとコストパフォーマンスがちょっと気になる...

もし1つでも当てはまるのなら

高濃度水素ガス生成機 H₂FRESCA が
HYDROGEN PRODUCTION

あなたの悩みを解決できるでしょう。

おすすめできる明確な理由が H2FRESCAにはあります。

水素ガス生成機器にも様々なタイプがあります。

○研究用で使用される特殊メンブレン（分離膜）を採用した数百万円するモデル。

○安価なタイプであれば電極を使用した水素ガス発生装置。

上記はボトルタイプや電子タバコと合体されたような機種が多いのですが、水素ガスの生成量が多くても10ml/分程度。

安価で小型という利点はあるのですが一番の欠点としては、頭痛の元になるオゾンガスと一緒に生成されてしまい、吸えば吸うほど頭が痛くなるという事がありました。（最近はおゾンガスを排出するモデルもあるようです）

H2FRESCAは多くの水素ガス装置で使用されている非常に高価な量子交換膜（PEM膜）を使用したモジュールを使用しています。本体価格の半値以上がこのPEM膜と言っても過言ではありません。PEM膜にも欠点があります。高度に精製された精製水が必要という事。

H2FRESCAは常に精製水の純度を測定して、基準値以上の数値になった場合に、PEM膜を守るために自動停止してエラー表示をします。

しかし、復帰は簡単！古い精製水をすべて捨てて、新しい精製水（薬局やドラッグストアで1本500ml100円程度）を入れて頂ければ使用をすることができます。

交換サイクルは使用時間や、まわりの空気環境にもよりますが、1日使用が1時間で約2週間程度は使用できますので、月2回程度（200円）位の精製水の費用です。

水素ガス濃度としては99.9%以上のガスを生成しますので、人間用では十分なスペックとして当社ではPEM膜を利用したモジュールを使用しています。

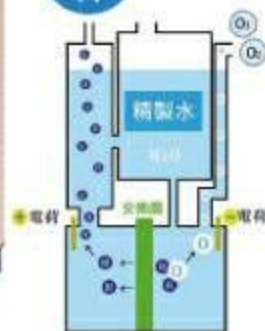
安全かつ高性能

PEM方式を採用



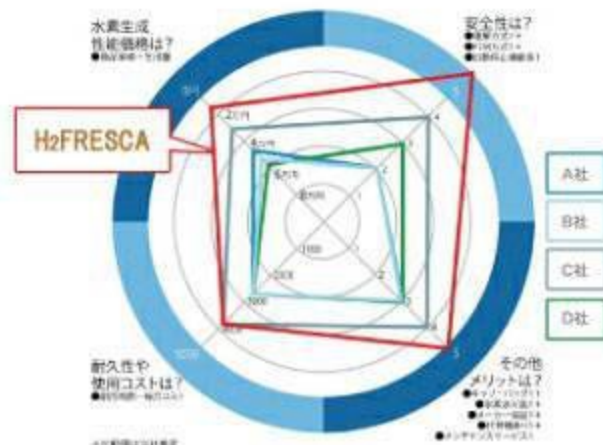
毎分150mL(±10%)

純度
99.9%
H



※PEM方式(高性能量子交換膜)を採用し、
不要な酸素・オゾンを排除し、高純度水素を生成します。

水素生成機器購入時の 比較検討チャート



使用準備

最初にご使用される場合は精製水を入れてから 24 時間以上経過してから電源を入れてください。

タンク内の精製水が少なくなった場合、つぎ足し補充はしないで、一度すべて排水してから、新しい精製水を注水してご使用ください。

- ① フレスカ本体の上部つまみを時計回りに（OFF の方）回すとフタが外れます。
- ② フタが外れたら、そこに精製水を目盛りMAX より少し下まで入れます。（500ml 程度）
- ③ フタの後ろにイオン交換樹脂スティックを取り付けます。（約6カ月で交換です）
- ④ 上部つまみを反時計回りに（ON の方）回すとフタが閉まります。



イオン交換樹脂スティックを取り付けたフタ



- ⑤ 上部つまみの横に Gas Outlet と書かれた白いゴム製のフタを上にも引くと外れます。
- ⑥ Gas Outlet の穴にウオーターコレクタのチューブを差し込みます。
- ⑦ ウオーターコレクタ本体にカニューラーを接続します。
- ⑧ AC アダプタ本体とコンセントプラグケーブルを接続します。
- ⑨ AC アダプタを本体裏側下の接続口に接続し、プラグをコンセントに差し込みます。

H₂FRESCAに寄せられるよくある質問

Q. 純度 99.9%の水素が発生するとのことですが爆発の危険性はないのですか？

- A. 水素は濃度 5%～75%、かつ酸素濃度 5%以上のときに着火すると爆発すると言われます。水素は非常に軽い気体のため、吸入管から出たらすぐに上昇してしまい拡散します。なので、吸入管の出口に直接火をつける行為をしない限り、爆発の危険はまずありません。煙草を吸いながらの使用等、火に近づける場所で使用しない限り爆発は起こりません。また本製品の水素の生成量は約 150ml/分という量です。
- 1立方メートルの密閉された空間に1時間放出したとしても水素濃度は0.9%で爆発濃度には達しません。「火気の側で使用しない」という条件を守っていただければ、安全にご使用いただくことができます。

Q. カニューラの片方からしか水素が出てない気がします。出方がやや少ないのでは？

- A. カニューラの入り口側は1本のチューブになっており、出口の鼻に挿入する部分で2つに分かれます。なので「片方からしか出ない」ということはございません。
- 水中にカニューラを傾けずに、水平に沈めるときちゃんと両方から出ていることが確認できます。また、毎分 150ml±10%という水素の量は通常の呼吸の空気の色と比較してとても少量です。水上置換法にて測定しますときっちりスペック通りの水素発生量をご確認できます。

Q. 本体の中に水を入れっぱなしにしている雑菌がわいたりしませんか？

- A. 本製品には水中のイオン等、水以外の不純物を吸着する「イオン交換樹脂スティック」が付属しています。もし水に雑菌が混入しても、栄養となる物質も除去しますので増殖しません。
- また水素発生に使用する水は薬局などで販売されている「精製水」に限定させていただいています。雑菌の混入、イオンの混入の可能性を極小にするためです。
- さらに、精製水の継ぎ足しはしないこと、および2週間に1度はもし本体内に水が残っていても、それを捨て、新たに精製水を入れ直していただくことを説明書に記載しておりますので従っていただければと思います。